

シリア国概況

(2003年10月)

正式国名	(和文)シリア・アラブ共和国 (英文) Syrian Arab Republic
独立年月日・旧宗主国	1946年4月17日・フランス(委任統治国)
政体	共和制
元首	バッシャール・アル・アサド(Bashir al-Assad)大統領
位置・面積	北緯32度~37度 東経35度~42度 18.5万km ²
首都	ダマスカス
総人口	約1700万人
民族	アラブ人、アルメニア人、クルド人、パレスチナ人など
公用語	アラビア語
宗教	イスラム教(スンニー派など)、キリスト教、ユダヤ教
暦	祝祭日(2003年) 1月1日 新年 2月11~13日 巡礼休日:* (イスラム暦) 3月4日 イスラム新年:* (イスラム暦) 4月17日 独立記念日 4月20日 復活祭(Catholic) 4月27日 復活祭(Orthodox) 5月1日 メーデー 5月6日 殉教者の日 5月13日 預言者の聖誕祭:* (イスラム暦) 10月6日 戦争記念日 11月16日 国民の日 11月25~27日 断食明けの祭:* (イスラム暦) 12月25日 クリスマス(キリスト教祝祭日) (*:イスラム陰暦に基づき1~2日の幅で変更の可能性あり)
日本との時差	-7時間
サマータイム実施の有無	あり

概要

(1) 国土の概要

シリアは地中海東岸、北緯 32 度～37 度、東経 35 度～42 度に位置している。面積は 18.5 万 km² で日本の約半分である。国土は北はトルコ、東はイラク、南はジョルダン、南西はパレスチナとレバノンに国境を接している。国土の大部分は山岳地帯と半砂漠地帯である。地形は変化に富んでおり地中海沿岸とそれに迫る山地、その南方のオロンテス川流域は雨量が多く肥沃で緑も豊かである。東部の細長い平野は徐々に広大な半砂漠（バディヤ）に連なり、半砂漠はさらに東はイラクへ、南はジョルダンを越えてアラビア半島へ伸びるシリア砂漠に続いている。森林は少なく海岸線に沿ったラタキア mountain 地帯にしか見られない。

(2) 気候

シリアの気候を大別すれば地中海沿岸部の地中海性気候と内陸部の砂漠性気候に分けられる。11 月から 3 月までの雨期とそれ以外の乾期からなる乾燥した気候である。夏期（5 月から 9 月）の気温は日中 40℃ 近くまで上昇するが、夜間は 20℃ 前後にまで下がる。冬期（11 月から 2 月）には氷点下まで下がり積雪も見られるなど、日格差とともに年格差も大きい。

(3) 人口

総人口は 1700 万人。主要都市人口はダマスカス 400 万人、アレッポ 158 万人、ホムス 54 万人、ラタキア 31 万人、ハマ 26 万人である。

(4) 民族

国民の 8 割以上がアラビア語を母語とするアラブ人であるがシリア語（アラム語の一種）を母語と考えるアラブ人もいる。アラブ人の中には、主に難民として居住するパレスチナ人も含まれる。アラブ人に次いで多いのがクルド人で、北部を中心に居住している。サラディン（対十字軍戦争のムスリム側の英雄で、クルド人）の時代以来ダマスカスにも大きなコミュニティがある。その次がアレッポに最大のコミュニティを有するアルメニア人で国内の専門的職種に携わる者が多い。また、北コーカサスを故国とするチェルケス人やダゲスタン人、その他アッシリア人やトルコマン人もいわゆる少数民族として居住している。

(5) 言語

アラビア語を公用語としている。ほかには主にクルド語、アルメニア語が用いられる。外国語としては英語およびフランス語がかるうじて通用する。

(6) 宗教

イスラム教徒が 8 割を占めそのうち 7 割がスンニー派である。ほかにアラウィ派、ドルーズ派、イスマイル派、シーア派などがある。諸宗派は地域的に分布して部族に結びついておりスンニー派は都市部、アラウィ派はラタキ

ア地方、ドルーズ派はスワイダ地方、イスマイル派はハマ地方に多い。
また、キリスト教各派の教徒やユダヤ教徒もいる。

シリア人は他の宗教に対して比較的自由的な態度をとることが多い。

(7) 文化

シリアは昔からアジア、アフリカ、欧州を結ぶ文化のかけ橋であり、その歴史は遠く紀元前 3000 年頃までさかのぼる。シリアを支配したさまざまな帝国の興亡の跡を留める古代遺跡は非常に多数存在し、エブラ、マリなど紀元前の寺院・宮殿やパルミラに代表される都市遺跡は世界的に有名である。

(8) マスメディア

a) 新聞

主要紙はアラビア語の「アルバース」「ティシュリン」「アッサウラ」、英字紙の「シリアタイムズ」がある。

b) 放送

シリア国营放送（Organisme de la Radio-Television Arab Syrienne）が、地上テレビ 2 チャンネルと、ラジオ 2 チャンネルの放送を実施している。

衛星放送では NHK をはじめ欧州各国の放送が視聴可能である。

c) 通信社

シリア国营通信（SANA）がある。

(9) 経済指標通貨

シリア・ポンド（Syria Pond）

(10) 換金率

a) 米ドル～現地通貨

1 米ドル = 51.5 シリア・ポンド（公定レート）

(11) わが国との関係

日本は 1953 年に国交を樹立。1996 年よりゴラン高原の国連兵力引き離し監視軍（UNDOF）へ自衛隊を派遣し現在も輸送活動などに貢献している。

出典

「国別協力情報ファイル」国際協力事業団

「外務省ホームページ（日本語）- 各国・地域情勢 - 」外務省

URL：http://www.mofa.go.jp/mofaj/area/syria/index.html

『世界年鑑 2000』共同通信社

『最新世界各国要覧 10 訂版 2000』東京書籍

『世界の国一覧表 2000 年版』世界の動き社

『NHK データブック世界の放送 2000』NHK 出版

任国官公庁/在外日本関係機関

任国官公庁

2003年9月18日オトリー内閣が発足し以下の人事が発表された。

大統領、3人の副大統領以下、次の31人の閣僚がいる。新内閣発足に伴い副首相ポストは廃止された。

1. 首相 ムハンマド・ナジ・オトリ
2. 国防相 ムスタファー・タラス(留任)
3. 外相 ファルーク・シャラ(留任)
4. 移民相 ブサイナ・シャアバーン(新、前外務省報道官)
5. 保健相 ムハンマド・イヤード・シャッティ(留任)
6. 農相 アーデル・サファル(新)
7. 電力相 ムニープ・サーイム・ダハル(留任)
8. 石油省 イブラヒム・ハッダード(留任)
9. 灌漑相 ナーディル・ブンニー(新)
10. 文化相 マフムード・サイイド(教育相から横すべり)
11. 情報相 アハマド・フセイン(新、元イラン大使)
12. 宗教相 ムハンマド・ジヤーダ(留任)
13. 運輸相 マクラム・オベイド(留任)
14. 司法相 ニザール・アサス(新)
15. 工業相 ムハンマド・サーフィ・アブダーン(サービス担当副首相から横すべり)
16. 内務相 アリー・ハンムード(留任)
17. 通信・テクノロジー相 ムハンマド・バシール・ムナッジド(留任)
18. 社会労働相 シハー・ダッロ(新)
19. 住宅・建設相 ナハード・ムシャント(新、住宅省と建設省が合併)
20. 地方行政・環境相 ヒラール・アトラシュ(留任、地方行政省と環境省が合併、アトラシュ大臣は前地方行政相)
21. 教育相 アリー・サアド(新、前ダマスカス大学教育学部長)
22. 財務相 ムハンマド・フセイン(サービス担当副大臣から横すべり)
23. 商業相 ガッサーン・リファーイ(留任、但し、「経済・海外貿易省」から名称変更。供給省を吸収したと思われる)
24. 観光相 サアダッラー・アガ・カラア(留任)
25. 高等教育相 ハーニ・ムルタダ(新、前ダマスカス大学学長)
26. 大統領府担当相 ガッサーン・ラッハーム(新、前ダマスカス県知事)
27. 国務相 ユーセフ・スレイマン・アハマド(新)
28. 国務相 バッシャール・シャアール(新)
29. 国務相 ムハンマド・ヤフヤ・ハラート(新)
30. 国務相 フサーム・アスワド(新)
31. 国務相 ギヤス・ジャルアトリ(新)

在外日本関係機関
在シリア日本大使館

住 所：No.18 Al-Mihdi Bin Baraka St., Damascus (B.P. 3366)

電 話：963-11-3339781、3338273、3332553

F A X：963-11-3339920